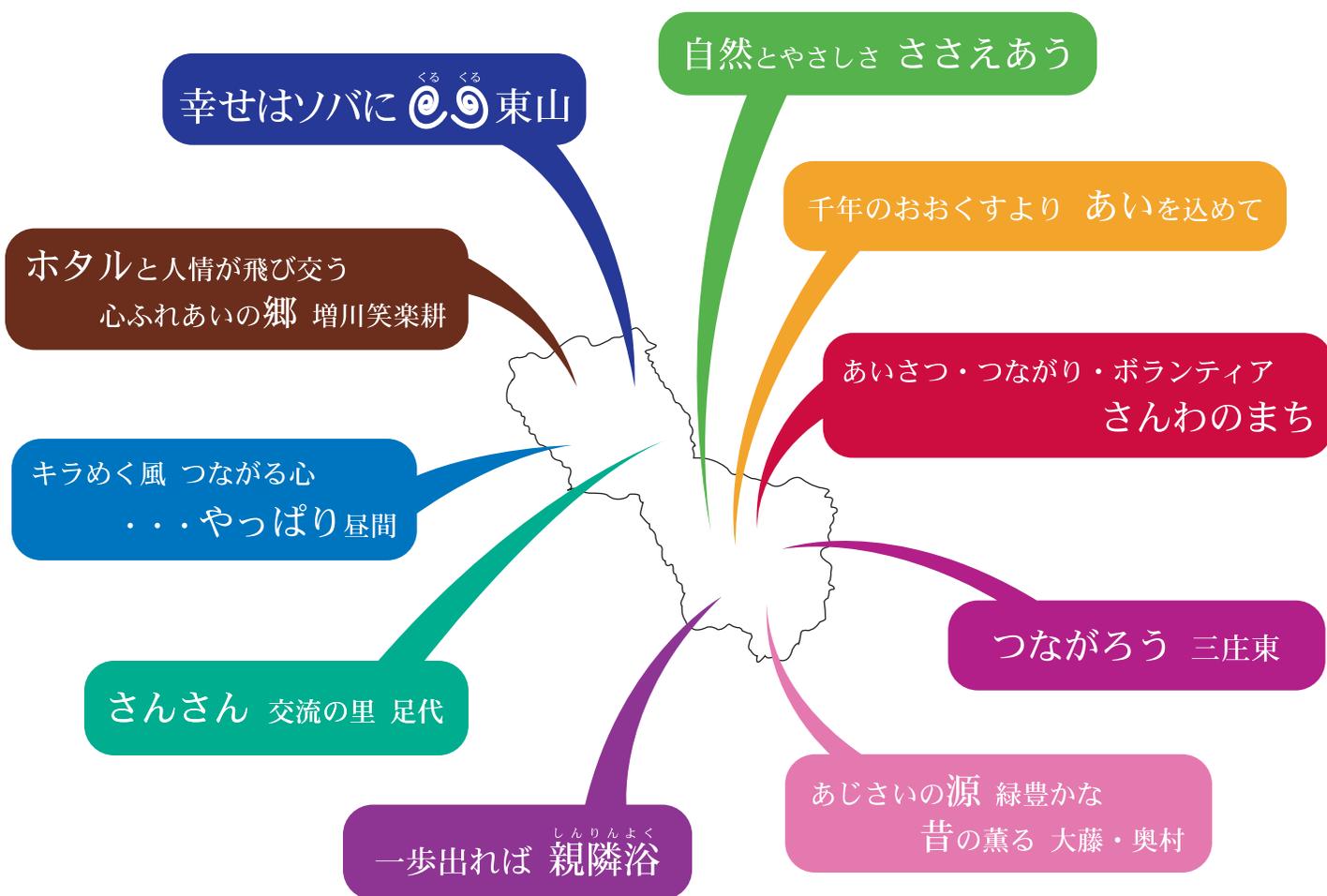


第2次

東みよし町地域福祉活動計画

自然とやさしさ、心ふれあう福祉の郷^{さと}



社会福祉法人 東みよし町社会福祉協議会
東みよし町地域福祉活動計画策定委員会

地域福祉活動計画とは…

- ①自助→自分で出来ることは頑張ってみる
- ②互助→家族やご近所で解決を探る
- ③共助→地域力を結集して解決を探る
- ④公助→行政の制度・施策で解決を探る

上記を役割分担し、地域住民や社会福祉関係者、当事者組織、ボランティア団体などが相互に連携・協力しながら、地域福祉を推進していく「民間の活動計画」です。

どのように策定したの…

平成23年に町内を10地区に分け、地域住民の皆様に策定委員としてご協力をいただき「地区地域福祉活動計画」を策定しました。また、地区での計画を推進し、町全体としての目標や協働体制を決めるため「町地域福祉活動計画」を策定致しました。

策定から5年が経過し、それらの進捗状況を評価し、これからの5年間で取り組むべき課題を「第2次東みよし町地域福祉活動計画」として新たに策定しました。

策定作業の形態を協働作業（ワークショップ）により、自分らしく安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域に根付いた支え合いをもとに①自主性②主体性③独自性を尊重した地域住民を主体とした、地域福祉活動を可視化しました。

策定後はどのように活動をしていくの…

今後は本計画の目標達成の為、「地域福祉活動計画推進委員会」を設立し、社会福祉協議会が行っている「さんわ会」活動をもとに本計画の推進をはかります。また東みよし町地域福祉計画との連携をはかり、協働での町づくりを進めていきます。

また社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図る中間的団体として、本計画の事務局を行います。ご意見・ご要望等ありましたら、推進委員会やさんわ会等を通じてお寄せ下さい。

東みよし町地域福祉活動計画（策定平成23年5月）評価表

	テーマ	課題	取組方法	1次計画評価
自助	つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいづくり ・ボランティア ・健康の配慮 	自給自足生活	3.37
			簡単料理教室、体操教室に参加	2.63
			こだわりのないボランティア	3.37
			行事等への輸送サービス	2.95
		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力の再生 ・おつきあい ・連帯感 	空き屋、集会所の利用（お茶会）	2.63
			季節行事、地域行事に参加（連帯感）	3.68
			積極的に外に出る	3.53
		<ul style="list-style-type: none"> ・声かけ ・笑顔であいさつ ・あいさつの回数を増やす 	外に出て、年齢を問わずに気軽に声かけ	3.84
			安否気づかい電話	2.84
		自助平均点		
互助	絆	<ul style="list-style-type: none"> ・協力 ・手伝い（ゴミ出し、買い物） ・ご近所の助け合い 	連絡網を作る	2.74
			近所の人が集まる機会を多く作る	2.89
			井戸端会議（お茶飲み会）の復活	2.74
			ゴミ当番や役割の交替	3.05
		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の活動の充実 ・事業の復活、定職作り ・つきあい 	自治会での実態把握（現状の分析）	3
			行事、事業の復活（声をかけて参加を呼びかける）	3.05
			新年会、忘年会等を開き親睦を深める	2.58
		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア ・世話焼き ・楽しい暮らし方 	世代を超えて声をかけあう	3.37
			年齢、体力相応のお世話活動	3.16
			家族ぐるみのおつきあい	3.11
互助平均点				2.97
共助	地域力	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間の交流 ・社会参加 ・地域環境を良くして観光化 ・自治会交流、活動の充実 ・学校、施設の利用 	清掃活動、サークル活動、クリーン作戦への参加	3.95
			地域子どもたちに昔の遊びを教える	2.47
			地域により、現在行っている行事が多くある	3.05
		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動 ・井戸端会議によるボランティア 	花づくり、環境美化への参加者を多く募る	2.68
			老人クラブを中心に子どもとの交流	2.47
			自主防災への取り組み	3.47
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の連携 ・自治会同士の交流 	まつりの復活	3.16
			自治会交流	2.89
共助平均点				3.02

東みよし町地域福祉活動計画（策定平成23年5月）評価表

	テーマ	課題	取組方法	評価
自助	つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいづくり ・ボランティア ・健康の配慮 	自給自足生活	3.37
			簡単料理教室、体操教室に参加	2.63
			こだわりのないボランティア	3.37
			行事等への輸送サービス	2.95
		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力の再生 ・おつきあい ・連帯感 	空き屋、集会所の利用（お茶会）	2.63
			季節行事、地域行事に参加（連帯感）	3.68
			積極的に外に出る	3.53
		<ul style="list-style-type: none"> ・声かけ ・笑顔であいさつ ・あいさつの回数を増やす 	外に出て、年齢を問わずに気軽に声かけ	3.84
			安否気づかい電話	2.84
		自助平均点		

推進状況（気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組）

良かったこと	季節行事、地域行事等イベントへの参加、定期的に交流会を開催
	神社、集会所を利用して子どもサマースクールを開催し交流
	安否等、隣近所の様子を気にするようになった
	自分が笑顔であいさつ
	自分から声をかけて知人を誘ってイベントに参加
	健康管理（ラジオ体操に近所の人を誘って多くの人が集まった）
	野菜作り、物々交換による交流が行われた
課題	地域の輪に入っていくにくい
	空き屋が増えた、日中不在の家が多くなった
	集会所の利用が減った
	地域の住民が減った
	近所のおつきあいが減った
	地域の寄り合いで先に帰ってしまう人が多い
取組み方法	家族や友達を誘って出かける
	まずは自発的に外に出る
	役職などの立場を利用して出向く
	気の合う人を誘ってみる
	あいさつでことばのキャッチボール
	声かけの範囲を広げ、行動範囲を広げる
	積極的に「いらぬお世話」をする

2次計画において取り組む最優先課題や事項

課題	住民の減少による交流、集まる機会の減少と安全な移動手手段の確保
具体的な取組	地域のイベントや地域のサロンに参加する、声かけや車の同乗による参加機会を確保するウォーキングや認知症予防など自身の健康管理を行う
活用出来る地域資源	お寺・神社・役場・福祉センター等で開催されるイベント、手渡しでの回覧板、趣味活動
期待する効果	いきがいが生まれて健康になる、安否確認により地域防災が強まるお世話人さんの責任感が強まりイベントが多くなる、誘い合わせることで人の集まりが増える

東みよし町地域福祉活動計画（策定平成23年5月）評価表

	テーマ	課題	取組方法	評価
互助	絆	<ul style="list-style-type: none"> 協力 手伝い（ゴミ出し、買い物） ご近所の助け合い 	連絡網を作る	2.74
			近所の人が集まる機会を多く作る	2.89
			井戸端会議（お茶飲み会）の復活	2.74
			ゴミ当番や役割の交替	3.05
		<ul style="list-style-type: none"> 自治会の活動の充実 事業の復活、定職作り つきあい 	自治会での実態把握（現状の分析）	3
			行事、事業の復活（声をかけて参加を呼びかける）	3.05
			新年会、忘年会等を開き親睦を深める	2.58
		<ul style="list-style-type: none"> ボランティア 世話焼き 楽しい暮らし方 	世代を超えて声をかけあう	3.37
			年齢、体力相応のお世話活動	3.16
			家族ぐるみのおつきあい	3.11
互助平均点				2.97

推進状況（気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組）

良かった点	声をかけあい誘い合って参加するようになった
	声を出すことで自分やとなりの人の気持ちがわかるようになった
	協働作業への協力者を増やすことができた
	世代を超えた声かけを行うことができた
	人が集まる機会が増えてきた
	自主防災会の取組みが進んでいる
	ボランティアで自分の役割が見つかった
	隣組の協力が当番でなく協働になった
課題	集会や常会がなくなった（集まる機会が減った）
	お祭り、お葬式にも人が出てこなくなった
	家を出て会話することが減った
	人が減って負担の割合が増えてきた（高齢化が進んだ）
	集会所が不便
	世代を超えた交流がなくなった
	地域が広くなり、顔が見えなくなった
	隣近所がいなくなった
取組み方法	班の中での集まりを自治会に広める
	話し合いへの参加
	共通の話題づくり
	今の活動をやめずに続けていく
	さんわ会や自主防災会の小地域化
	課題や良さを伝えていく

2次計画において取り組む最優先課題や事項

課題	住民の減少による交流、集まる機会の減少と安全な移手段の確保
具体的な取組	いろんな活動にみんなで参加する、今ある集まりや活動を盛り上げていく アナログな生活（回覧板や顔のみえる交流）をしてみる
活用出来る地域資源	集会所（畳の部屋）、いきいき100歳体操、自治会、カフェ、サロン、地域の高齢者 温かい食事、カラオケ（遊べるもの）、お祭り
期待する効果	人の集まる機会が増える、人が人を誘うことで移手段が増える、 自分たちが作った野菜が共有できてひきこもりが減る、 いろんな世代の人が気軽に集まれる、誰かと会話をして食事がとれるようになる

東みよし町地域福祉活動計画（策定平成23年5月）評価表

	テーマ	課題	取組方法	評価
共助	地域力	<ul style="list-style-type: none"> 世代間の交流・社会参加 地域環境を良くして観光化 自治会交流、活動の充実 学校、施設の利用 	清掃活動、サークル活動、クリーン作戦への参加	3.95
			地域の子どもたちに昔の遊びを教える	2.47
			地域により、現在行っている行事が多くある	3.05
		<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動 井戸端会議によるボランティア 	花づくり、環境美化への参加者を多く募る	2.68
			老人クラブを中心に子どもとの交流	2.47
			自主防災への取り組み	3.47
		<ul style="list-style-type: none"> 地域の連携 自治会同士の交流 	まつりの復活	3.16
			自治会交流	2.89
共助平均点				3.02

推進状況（気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組）

良かった点	クリーン作戦で地域がきれいになった
	みんなで集まっているような行事が開催できた
	神社・道路の清掃活動を通じて交流ができた
課題	主の自治会に入れない
	自治会内・自治会をこえた交流が減った
	近所に集まれる場所が少ない
	世代の違いで考えかたに違いがある
	高齢者が多く、交通手段がない
	自主防災意識が薄れている
	イベントを行っても参加者が減っている
取組み方法	積極的な声かけ
	清掃等の後の交流を行う
	終了時間を決める
	みんなで集まれる場所・機会をつくる

2次計画において取り組む最優先課題や事項

課題	住民の減少による交流、集まる機会の減少と安全な移動手段の確保
具体的な取組	自主防災組織による見守りをする、クリーン作戦など今ある仕組みを続けていく 町全体でのスポーツイベントなどに積極的に関わる
活用出来る地域資源	集会所、公民館、学校、スーパーマーケット、神社、常会を継続する、 地域の連絡網、みんなとやっていく人間関係
期待する効果	安心・安全な地域になる、人と人の情報交換ができ対応が早くできるようになる 声かけによりイベントの参加者が増える、人間関係がよくなる 集まる機会が増えて地域課題を知り・解決することができる、若者に魅力ある町になる

自助の推進(自分に出来ること。助けられ上手になること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	つながり	顔の見えるつながり お付き合い	あいさつの回数を多くする	4.42
			顔なじみをこれからも続けていく	4.88
			今までどおりのつきあいを続けていく	4.92
2	生きる	水の確保	水かけに協力	4.64
			買い物の手伝い	4.04
			獣等との戦い	3.68
			みんなと協力	3.96
3	生きがい	生きがい作り 農業や趣味活動	趣味活動(盆栽作り等)	3.95
			楽しく暮らす	4.43
			健康でいる	4.43
			野菜作り	4.27
			平均点	4.33

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	移動販売2社が1週回りに2回来てくれ安心。
課題	猿や猪の駆除
	地滑りが怖い
	公民館(大藤連絡所)の今後
	歩いて公民館に来られない
	みんなが集まれる機会を増やす
	敬老会や総会の時の送迎
	参加人数を増やしたい
具体的な取組	モンキー犬を増やす

互助の推進(家族やお隣さんで出来ること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	生きる	水の確保 お節介役になる	みんなと協力する	4.61
			水・買い物等、助け合う	4.13
2	獣	鹿、猪、猿等の野生動物の異常繁殖	作物を守る方法を話し合う	3.27
			モンキー犬を増やす	2.09
3	協力	付き合い 声かけ 農地山林の崩壊	買い物、水等の協力	4.17
			作業の協力	3.55
4	生きがい	生きがい作り 楽しい暮らし方の研究	共通の趣味を持つ	2.73
			健康体操をする	2.77
			週1回遊びに出かける 1日1回家から出る	4.04
平均点				3.48

共助の推進(地域の力を結集して出来ること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	協力	山の管理 農作業、助け合い 休作地の管理	道路清掃・草刈	4.79
			生活費の確保	4.48
			農地・休作地の管理	3.65
2	高齢者支援	支援者の確保 独居老人の見守り	車で移送してあげる	4.52
			支援者の確保	3.82
			団体との連携を維持	4.48
			声かけ運動をする	4.41
3	生きがい	生きがい作り 楽しい暮らし方の研究	楽しい暮らし方の研究	3.95
			まつりを続ける	3.91
			年1回の旅行	4.17
			老人クラブへの加入	4.65
4	生きる	水の確保 道路の整備	水・買い物・作業への協力	4.77
			作物を作る	4.55
平均点				4.32

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	繋がりのある関係が継続出来ている
	助け合いが出来ている
課題	猿や猪の駆除
	地滑りが怖い
	公民館の今後の運営
	歩いての移動が困難(公民館に行けない)
	行事への参加が少ない
	参加人数を増やしたい
具体的な取組	モンキー犬を増やす
	敬老会・総会の時の送迎
	みんなが集まりやすいイベントを増やす

自助の推進(自分に出来ること。助けられ上手になること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	近所付き合い	声かけ 手伝い合い 新たな繋がり	声かけや話をする機会を持つ	4
			忙しい時に仕事の手伝い合いをする	3.6
			生活の中での困り事の相談をする	3.2
2	ボランティア	活動の勉強会 ボランティア精神の再構築	道路の清掃をする	3.9
			人の為にしているという気持ちではなく、まずは自分が楽しみながらボランティアをする	3.7
3	生活	車等便利さの再利用 余った時間の有効利用	生活が便利になった事で余った時間を利用して自分が出来る事を作る	3.2
			車に便乗させてあげる	3.5
4	地域活力	後継者としての地域での交流 子どもを守る	特産品の新しい活用法を考える	2.3
			趣味サークルを作り参加を呼びかける	3.6
			共同作業で収穫をあげ所得が出るようにする	2.4
			平均点	3.34

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	ボランティアを楽しみながらすることにより、趣味になった
	忙しい時の手伝いが出来た
	ちょっとでも良くなるだろうと欲が出てきた
	他人の安否を心配出来るようになった
課題	後継者不足(青少年)
	限界集落
	災害に関心を持ってくれるようになって欲しい
	声かけと近所付き合い
	入って来る人もいない
	人数が減っている
具体的な取組	桑内集会所の手入れが素晴らしい、作業後の一杯がたまらなくいい。
	道路がきれい
	人と人とのつながりがを続ける。家に入って話したり、お茶を飲んでいく。
	校舎の利用による活動が定着し、新しいメンバーも増えてきている。
	自分の子どもを帰ってこさせたい。

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	災害への関心と助け合い活動
具体的な取組	非常持ち出し品(袋)の準備、家具をとめる、こまめな声かけをする、研修会・講習会への参加、避難場所(経路)の確認、保険への加入
活用出来る地域資源	さんわ会、防災フェスタ、防災訓練
期待する効果	対応力の向上、地域や防災への関心の向上、参加者が増える、自分の命は自分で守る

互助の推進(家族やお隣さんで出来ること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	声かけ	一人暮らしや子どもに安心・安全の為の声かけ	人に会ったら声をかける	4.5
			気になったら覗く	3.4
			立ち止まって声かけ	4
2	活性化	協働での農業特産品の活用	学校へ行こう	3.2
			桑内大師の数珠くり(年2回)への参加	2.4
			白内大師のお仏所当番(毎日)	2.7
3	近所付き合い	声かけ 手伝い合い 新たな繋がり	変わった事があったら覗きに行く(電気、新聞等)	3.4
			お茶会や井戸端会議を開く	3.4
			用事を頼む、頼まれる	4.2
			平均点	3.47

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	地域で人に会ったら声をかける。
	地域での行事や出事に積極的に参加し、声かけが出来た。
	声かけ(誘い合い)を積極的にするようになった。
	地域が声かけにより明るくなった。
	地域活性化がはかられたように思う。
課題	話を聞いてニーズの発掘をしなければならない。
	特産品の新しい活用法を考えたい。
	1人暮らしの高齢者に感心を持ちたい。
	もっと声かけをして何を求めているか知りたい。
具体的な取組	毎月の常会の開催。
	地域での絵堂っ子まつり。
	桑内大師の数珠くりは、人数が減ってきてても頑張って開催している。
	行事に積極的に参加出来ている。

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	災害への関心と助け合い活動
具体的な取組	避難行動(場所)の確認、持ち物の確認、家族毎の持ち物の確認、声かけをする、履き物を揃えて置く、安否確認用の連絡先確認、家族で避難場所の再確認
活用出来る地域資源	災害時伝言ダイヤル、サバイバル講習会、避難所(集会所)の確認
期待する効果	生活力(生きる力)が向上する、災害について話し合う機会が出来る、仲良くなる、1週間から1ヶ月ぐらいは公助がなくても生きられる

共助の推進(地域の力を結集して出来ること)

地域課題とそのテーマ		取り組み方法	採点	
1	地域交流	地域割りの再編 他地域との普段からの交流	声かけ(移動をなるべく歩きで!)	3.4
			自治会長等による声かけや集会の開催	4.1
			自治会の垣根の再編成(合併)	2.4
			農作業の助け合い	1.8
2	緊急対応	急病対策 高齢者の安否確認	高齢者の安否確認	3.2
			誰もが気安く言い合えて、助け合えるような地域にする	4.5
			ご近所の人々が家族のようなお付き合い	4.1
			家族構成の把握	4.8
3	活性化	協働での農業 特産品の活用	柚子のブランド化や特産品の商品化について考える	2.9
			空家の利用(田舎体験学習)→都会の人に喜ばれる	3.3
			すでにある物(建物等)を利用してイベントを考える	3.8
平均点			3.48	

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	イベント等(水の丸ウォーク、そば作り)の開催で、地域の人が集まって協力してくれた。
	絵堂っ子区楽部ができ、地域の人が集る機会が増えた。
	班長より声かけや手配りにより、接する機会が増えた。
	空家に都会から帰って来て、住むようになった。
課題	常会への出席が少ない(50%ぐらい)
	中高年と老人が多く、若者が少ない。
	地域の活動や協力がボランティアばかりなので、少しでも収入につながる方向に持って行きたい。
	高齢者を助け合い。
	高齢者のみの農作業の助け合い。
具体的な取組	丹田古墳の観光化。
	水の丸ウォーク。
	西庄地区小運動会。
	休耕地の再利用。
	敬老会。
	あめご。

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	災害への関心と助け合い活動
具体的な取組	避難所の確認と確保と周知、経路の清掃、安全な避難所の再発見、避難所の整備、仲良くする、第2の避難所の確認、他地域との交流
活用出来る地域資源	毎月自治会(常会)、西庄良所会イベント、絵堂っ子区楽部、日帰り遠足、東みよし町社協
期待する効果	自治会を越えた関係づくり、みんなが楽しくなれる、つながりあえる安心感、災害への対応力の強化、地域住民の安心感・期待感が高まる、超高齢者のことを考える気運に期待

自助の推進(自分に来ること。助けられ上手になること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	つながり	家族のつながり コミュニケーション能力の再生	配り物の際に一声かける	3.58
			各自が会話の時間を増やす努力をする(新聞などで話題づくり)	4.17
			グランドゴルフ等への参加で話をする機会をつくる	3.08
			家族で食事をする	4.42
2	農業	する人が減った 農業したいが採算が...	家族で、野菜作りの技術等を、次に伝える	3
			家族で食べる野菜は家族で	3.83
			田畑の管理	3.25
3	声かけ	笑顔で挨拶 訪問してお節介 近所付き合い	ボランティアを通して家族へ訪問・笑顔で挨拶	3.08
			集まり(ゴルフ等の趣味の場)で情報を知る	3.5
			1人暮らしの方への配慮→気になった時は早めの対処	2.83
4	ボランティア	奉仕作業 参加	花作りへの参加	2.83
			道路愛護への参加	3.58
平均点				3.43

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	弁当のボランティアを通して高齢者との交流が深まりつつある。
	常に家族で食事がとれた
	所有する田畑の管理ができた
	毎日、朝・夕は家族で食事をし、一日の出来事を話しました。
課題	畑はあるが、野菜作りがうまくいかない。畑の活用方法が知りたい。
	ボランティアに参加したい気持ちがあるが、仕事があるので時間がない。
	あまり近所の人に会う事がないので、話をする機会がない。
	人とつながる場面が少ない。
	配り物等を持って行っても人がいない。
具体的な取組	これからもゴミ収集所の清掃を続けていく
	学校の跡地の活用(フリーマーケットの開催等)
	時間を考えてご近所訪問・配り物をする
	余った野菜をご近所へ
	ボランティア参加
	ウォーキングを夕方出来るだけしてみる(人と会えるかも・・・)

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	人のつながり(防災活動から)
具体的な取組	自治会の防災訓練などに参加する。福祉活動に参加。近所で顔をあわせてあいさつ。単身生活者に声をかける。自分の家族の情報をまとめておく。災害時の行動を家族と話しておく。防災マップの活用。自分の特技を活かした活動。
活用出来る地域資源	防災訓練。花見。カラオケ等趣味活動。自然エネルギーの活用。防災組織作り。ハザードマップの確認。消化器等の場所の確認。自治会等の配り物は手渡しで。救急医療キットのを若い世代の家庭でも活用。
期待する効果	人とのつながりがどんどん増えていく。暖かい人間関係が出来る。防災意識の向上(生存率の向上)。地域資源の状況把握。自治会のあり方を考える機会が増える。無駄が減る。助け合いの大切さを知ることが出来る。

互助の推進(家族やお隣さんで出来ること)

地域課題とそのテーマ		取り組み方法	採点	
1	行事の復活 行事やまつりの復活 農業等後継者共同作業	まつりへの参加・継承	3.25	
		ゴルフ等の趣味活動への積極的参加	3.17	
		昔ばなしの伝承	2.5	
2	ゴミ出し	ゴミ出しの手伝い	困っていないか一声かけるよう努力する	2.42
平均点			2.83	

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	趣味(コーラス)毎週一回行っているので現状を知ることが出来ている。
	高齢者とカラオケ(点数を競う)
	秋祭りへの参加で、近所の方とゆっくり会話をした。
	グランド(パーク)ゴルフ等の趣味活動への積極的な参加
課題	花作りへの参加。毛田地区国道沿いの花の手入れを町のアジサイ会がやっていたが、振興会(自治会)でやって欲しいと言われた。
	サークル・クラブ活動の周知不足
	高齢者がゴミ出しが出来なくなったらどうしたら良いか相談されたことがある
	高齢者の見守りが不十分(特に1人暮らしの方)
具体的な取組	役を決めて高齢者訪問(耳が遠くて話が困難)
	黄色いハンカチ運動。1人暮らしの高齢者に旗(黄色いハンカチ)を配り、軒下に立てる・夕方しまう。一目でわかる元気印。
	ゴルフ大会等の開催(集まる場所作り)。趣味のグランドゴルフを通じて情報収集
	老人会で友愛訪問を付に一回は行うことで困っていること等話し合いを開いてあげる。見守り活動。元気な人は参加するよう勧誘する。
	配食サービスで月に一回訪問
	老人会で三加茂駅草取り・花植え

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	人のつながり(防災活動から)
具体的な取組	家の危ない所はないか知る。ご近所での情報の共有化。隣への声かけで安心を与える。減災の話し合いをする。非常持ち出し品の確認。外出時の居場所の確認方法を決める。
活用出来る地域資源	防災(支え愛)マップの活用。ガソリンは空にしなし(半分で入れる)。車にハンマーの携帯。手作り防災グッズの作成(みんなで作る)。非常持ち出し品チェックリスト。
期待する効果	家族の大切さを知る。防災(支え愛)マップの運用。つながりが強くなる。つながりの大切さを知る。防災意識が高くなる(情報収集がうまくなる)。自分で出来ることが分かってくる。

共助の推進(地域の力を結集して出来ること)

地域課題とそのテーマ		取り組み方法	採点
1	地域施設の活用	学校を活用した活動	3.67
		防災訓練	3.75
		地域の状況から家庭で安心な場所を作っておく	3.00
2	活力	静かな良さを再発見する	2.50
		グランドゴルフを盛り上げる	2.45
3	高齢者支援	高齢者での新しい相互支援・支え合い	2.17
		独居老人の見守り	2.50
		友愛訪問活動を通して見守りをする	2.17
平均点			2.78

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	地域掃除(溝掃除)。溝掃除を地域の方と一緒にすることで顔や名前を知り、会話を通じてコミュニケーションがとれた。
	地域の方に声をかけて頂き、今年は「川の日」にゴミ拾いにも参加した。
	場所提供。施設内での安全な場所作りについて地域の方の参加など取り組み。
	防災活動。自治会での防災訓練があり、竹ひも等の有効利用。
	毎月「みかもん」のケーキを全利用者と家族分用意した。活力になった。
課題	堤防に雑草が生えており、自分で奉仕作業をしていたが仲間が欲しい。
	あじさい 江口→毛田管理
	皆、どの世代でも活性化する活動へ
	いろいろな団体活動について知らない。繋がりが無い。何があるのか。どんな場所で行っているのか。
	サロン活動(施設内)で行っているが、まだ周知できていない。
	サロン活動を進めたい。
	サロン活動の場所がない、知ってもらう活動手順をどうするか
防災自治活動について誰がとりまとめるか	
具体的な取組	活動していく内容を中心として取りまとめる、事務局か人が必要。
	買い物できない方に移動販売
	地域の高齢者を集めて茶会等を行いたい。
	サロンを進めていく。西山路はH26.4~地域活動委員会を作り、施設周辺地域より始めている。防災拠点となる施設。地域の佳tが知らない。5月実施。
	サロン活動をする(お茶を飲んだり、お昼ご飯を食べる場所へ)
	防災マップ作り。道路の修繕を行政へ働きかけ、高齢者の居住者(独居等)を把握、どのように救助するかとの相談
	防災訓練への共同参加

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	人のつながり(防災活動から)
具体的な取組	定期的なマップの見直し。広域でのつながり作り。専門家を活用した活動。施設の利用。身分証明用タグ。
活用出来る地域資源	衛生無線(電話)の購入。ページング放送の活用。福祉施設や病院の利用(健祥会)。
期待する効果	1人でも多くの命を救える。地域が安心安全になる。独居高齢者の見守り活動が充実する。防災活動から他の活動に広がり(つながり)新しいマンパワーの発見が出来る。要援護者情報が深まる。

自助の推進(自分に出来ること。助けられ上手になること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	あいさつ	近所 1人暮らし 中高生への挨拶	相手の目を見てあいさつ	4.00
			様子を伺う(1人暮らし)	3.33
			姿を見たら積極的に声をかける	3.33
			車社会であるが歩く機会を増やす	3.00
2	つながり	地域行事への参加者減少 情報発信	お茶飲み友達を増やす	2.50
			月例会を維持する	1.83
			三世代交流行事を増やす	2.67
			井戸端会議を設ける(復活)	1.83
4	生きがい	趣味 友達を持つ 日々の目的設定	趣味を持ち知人に紹介する	3.00
			共通の趣味を持つ	2.83
			手料理での食事会	2.00
			平均点	2.76

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	生きがいや趣味を持てた
	人間関係が深くなった
	自らすすんで、挨拶や声かけが出来た
課題	姿を見たら積極的に声をかけることをもっと出来たら良かった
	世代の違う人達とのつながりが少ない
具体的な取組	さんわ会で世代交流が実施出来る
	さんわ会でいろんな方策を考える機会が出来る
	懲りずに頑張りたい

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	西庄さんわ推進会の活動推進
具体的な取組	人を増やす。理解を求めていく。知人への声かけ。交流の場を増やす。人と人との繋がりの中で信頼関係を作る。イベントに参加する。
活用出来る地域資源	人。役員全員で活動。親子会。青壮年部活動。施設(小学校、公民館、図書館、会館)
期待する効果	昔のような人間関係になればいいな。地元が目が向くようになり地元意識がアップする。福祉課題が分かるようになる。安心して過ごせる。前向きな考え・思考になる。

互助の推進(家族やお隣さんで出来ること)

地域課題とそのテーマ		取り組み方法	採点	
1	つながり	地域行事への参加者減少 情報交換 万月会参加	声を掛け合う	3.33
			誘い合っ出てかける	3.00
			お互いの情報を交換する	2.83
			月会等地域にある会に参加してみる	2.83
2	ボランティア	協働作業の復活 生活環境の整備	公民館の大掃除	1.83
			河川のゴミ拾いなど環境ボランティア活動を行う	4.00
			施設の奉仕作業の継続と他の作業(水路掃除等)への参加	4.17
			ゴミO運動の継続	3.00
3	あいさつ	声かけ 手伝い合い	散歩途中などで出会ったら挨拶をする	4.50
			自治会への参加を促進し誘い合う	3.33
			顔会わせの機会を増やす	2.67
平均点			3.23	

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	水路の掃除の参加とその後の会(飲み会) ふるさと探訪に子どもも参加出来た
課題	つながり・ボランティア・あいさつを広める目的でさんわ会を設立したが、案外浸透出来ていない 地域福祉や地域活動をどのように広めていくか 出会ったらみんなで挨拶出来たらいいなあ(女性や子ども達は不審がっている時もある)
具体的な取組	地域のつながりを深める為の相談役を見つけたい

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	西庄さんわ推進会の活動推進
具体的な取組	誘い合い(声かけ)。お節介をしあえる。1人で出来ない時は声を出す(声かける)。近所での声かけ・あいさつ。
活用出来る地域資源	若鮎連。自治会。趣味の会。知識のある人は多くいる。議員さん。年長者(人生の先輩)。敬老会。ソフトボール・ゴルフ・囲碁等サークル活動。
期待する効果	若い人達が帰ってきたくなる。思い出のある町。みんなが一緒にご飯を食べる。笑顔の絶えない地域。話題が共有出来る。さんわ(話・輪・和)の実現。気安く電話出来る関係作り。

共助の推進(地域の力を結集して出来ること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	地域活動	自治会の活性会 自治会行事の復活 新しいコミュニティ	自治会費を集めて行事をする	4.33
			敬老会、花見(総会)の参加	3.17
			自治会女性部活動(親睦旅行)・自治会の班ごとの行事への参加	2.33
			慶弔、お手伝い	4.00
2	世代交流	ネットワーク活動 新しい関係作り	小学校へ行って昔の遊びを教える	2.17
			親子交流(お別れ遠足・夏休み交流会)	2.50
			保育所とグランドゴルフ場が隣接しているので、交流を図る	1.50
			敬老会	2.67
3	ボランティア	声かけ 見守り 活動の継続	配食サービス、声かけをする	1.50
			清掃作業(缶拾い)	2.17
			パラグライダー活動お手伝い	2.00
			見守り活動	1.67
			施設訪問	2.17
4	環境	池、用水等の整備	清掃作業(草刈、缶拾い)	3.00
			池周辺を整備して人が集まるようにする→観光化	3.00
			平均点	2.54

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	池の周辺の草刈
	敬老会、花見の参加(参加率80%)
	地区内の交流
	施設への訪問
課題	世代交流の場がない
	世代交流の不足
具体的な取組	とりあえず小さな単位(自治会)内からの交流
	さんわ会と親子会のコラボレーション

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	西庄さんわ推進会の活動推進
具体的な取組	班(班長)が中心となって手間をかけて活動する。親子会との連携。敬老会に親子会も参加。井関青壮年部。10年先を見越して池の草刈と観光化。夜間のイベント。
活用出来る地域資源	防災関係のイベント。図書館。資料館。いろり文庫。親子会(特に親)。自治会。南岸用水の清掃。井関青壮年部。
期待する効果	昔のような人間関係や挨拶や声かけが自然に出来る。気安く相談出来る人間関係作り。地域を大好きになる。名前と顔を覚える。ボランティア活動に1人でも多くの参加が見込める。笑顔で挨拶出来る気持ちの余裕が出来る。

自助の推進(自分に出来ること。助けられ上手になること)

地域課題とそのテーマ		取り組み方法	採点
1	支え合い 声かけ 各戸の訪問 あいさつ運動 助け合い	若い人には積極的に参加してもらう	2.58
		常に連携を取り、高齢者の見守りをする	3.42
		1人暮らしの人は隣近所に緊急連絡先を覚えておく	2.92
		双方よりあいさつをする	4.50
2	少子高齢化 2世代、3世代での生活 子どもの減少	健康を保ち、人に迷惑をかけない(ウォーキング、雑談の場に参加)	4.25
		同居しやすい家庭にする	3.46
3	行事 冠婚葬祭の復活 行事の参加者の減少	良い伝統を守っていく	3.58
		今まで通り参加する	4.33
		誘い合わせて1人でも多くの人が行事に参加する	3.67
平均点			3.63

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	団体の活動(古川若手会、大楠保存会、葵21会(大晦日に餅つき、ぜんざい等))
	古川パトロール隊(県西部第1号)
	月1回班会。自治会内の付き合いがうまくいき、人情が豊かに感じる。
	健康保持の為積極的な運動とスポーツで交流(バレーボール、ソフトボール、運動会応援)
	行事に参加
	買い物は自転車で行き、顔を会わせたら立ち話をする。ご近所同士のあいさつ。
課題	災害時高齢者等を助けることが出来るか不安
	高齢者が参加出来る無料(気軽な)のサークルがない
	お祭りへの参加が少ない
	地域の伝統を守る若者が少ない先行き不安。若者が自宅から出て行くひが多い。
	地域近所の方との交流が少ない、交流があまりない
具体的な取組	団体の活動(大楠保存会(しめ縄作り)、古川若手会、葵21会、婦人会活動)
	高齢者と若者の交流する場の確保
	武文神社の祇園祭りを盛り上げる為カラオケ大会
	農村公園や自治会内へ花植えをして人が集まれる場所を作り活性化
	大楠まつりのチケット販売と後片付け(花火、抽選会)
	独居老人の方への訪問・声かけをして信頼関係を築き安全確認(地域ネットワーク)

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	高齢者への支援と地域文化の伝承
具体的な取組	自治会の活動に積極的に参加し交流の場を広げる(公園清掃、祭り、防犯活動)。集会場等での高齢者サロン活動。大楠保存会の行事に多くの人に参加してもらう。お祭りへの参加。声かけ挨拶。七夕笹の配布。1人暮らしへの訪問。寄り添い(話を聞く)。健康に関する行事に積極的に参加する。人と話す機会作る(うどんサロン開催)。
活用出来る地域資源	集会所・おおくすハウス井戸端会議。武夫神社祭りのカラオケ大会。大楠。お宮お寺。空家を活かした居場所作り。京文化を味わえる鴨神社(文化財の活用)。麺名人(うどん・そば食べよう)。自治会。社協。老人会。町。敬神婦人会。
期待する効果	誰もが仲良くなり住みやすい町づくりが期待出来る。高齢者がいつまでも活かされる(世の役に立つ)。地域の活性化・生きがい。知り合いが多くなり挨拶等がしやすくなる。地域の連携強化が期待出来る。隣近所が寄り添いながら生活出来る環境。声かけあいさつから連帯感を高めたい。心が打ち解けあし明るくて健全な心身が作れそう。健康寿命アップ。子どもの数が増える。

互助の推進(家族やお隣さんで出来ること)

地域課題とそのテーマ		取り組み方法	採点
1	近所付き合い 隣近所付き合い 助け合う	近所同士の挨拶をする	4.75
		自治会で集まる場を作る	2.92
		話し合いの機会を作る	2.92
2	健康 健康のために歩く	歩くついでに防犯活動(福祉活動)をする(2人つづ)	2.75
		糖尿病等の呼びかけを行う	2.25
		夜歩けるように危険な場所を知り、対策を行う	2.17
3	伝統行事 まつりの活性化	まつりに子どもを参加させる	2.58
		子どもに町の文化を残していく	2.58
平均点			2.86

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	近所であいさつ
	歩くついでに防犯活動
	町の文化を次の世代に残していく
	まつりに参加する
課題	地域で防災について考える
	集まる機会を作る(場所)
	空家が増えている
	動物の被害(サル、シカ)
	勧誘の電話が多い
	まつりに子どもを参加させる
	自主防災会の集まり(最初は多く集まるが段々減っていく)
	子どもに町の文化を残していく
具体的な取組	鴨神社のまつりで屋台を出す(夢)
	高齢者が集まる平屋が欲しい(お茶を飲んだり、お互いに助け合って集えるサロン)
	3世代で集まるまつりや運動会がしたい
	毎朝お宮の清掃(情報がわかる)

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	高齢者への支援と地域文化の伝承
具体的な取組	お宮の清掃。高齢者の把握(見守り声かけ買い物・ゴミ出し支援)。元気旗立て。自治会で集まる(サロン作り)。お祭りに参加。生活改善センターを交流場に利用。地域行事を考える。
活用出来る地域資源	生活改善センター。集会所(平屋・1階活用)。鴨神社(正月餅つき復活)。お祭り(日程を変更しない。太鼓の伝承者、子どもがいない)。農村公園。大楠公園(おおぐすハウス)。郵便さん、新聞配達さんの見守り。敬老会。子ども会。社協。お宮で花見やカラオケ。
期待する効果	団結力が出来る。明るい地域づくりが出来る。世代間交流、助け合える地域づくり(話し合える場作り)。集会所が活用出来る。安否確認。地域が元気で楽しくなる。子ども達と老人が手をつないで歩ける町。

共助の推進(地域の力を結集して出来ること)

地域課題とそのテーマ		取り組み方法	採点	
1	地域連携	お見舞いのやりとり 話し合いの機会の減少	定期的に“福祉の日”を定めて活動	1.92
			新年会等、親睦会を開催・継続する	2.75
			みんなが集まる機会を増す	2.50
			共通のルールを決める	3.33
			人と話せる機会を増やす	2.75
			地区でまつりを開催する	2.75
2	地域防災	防災組織の再構築	防災訓練を継続して行う	2.50
			消化器、消火栓の点検や使い方を確認しておく	2.92
			呼びかけて交流しながら防災組織作り	2.67
			隣近所の助け合い連絡網の整備	2.42
3	婚活	結婚の世話 未婚者の増加	青年団活動に力を入れる(組織化)	1.58
			出会う機会を作ったり出会いのための企画を考える	1.67
			ボランティア活動等を通じて、出会える場を作る	1.58
平均点			2.41	

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	共通のルールを見直して確認出来た
	防災組織作り、防災訓練
	大楠まつり
	8戸で年5回以上集まる(情報共有)
	春の河川清掃後、消火栓の取り扱い講習をしている
課題	地域の者が集まって話したり遊んだりしたらと思うが、リーダーがいない
	婚活(若い人が少ないため、計画が出来ない)
	地区の集まる機会が少ない
	お年寄りが自分で歩いて参加出来る居場所がない(サロンお茶飲み場等)
具体的な取組	ボランティアでパソコン教室5教室行っている(50名)
	近所で親睦と情報交換(新年会、花見、半夏生、月見、忘年会)を長く続けたい
	農村舞台の復活
	魂と歴史の宿る小京都 三加茂
	まつりを中心とした地域の活性化

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	高齢者への支援と地域文化の伝承
具体的な取組	まつりを中心とした地域の活性化(地域で集まれる)。麵まつり(特技を活かしたイベント)。行事に高齢者を引っ張り込む(移動手段)。サロン活動(引きこもらせない)。オアシスマつり。季節の料理教室。お花見。防災事業を楽しめるようにする。忘年会・新年会。伝統行事の活性化(高齢者を指導者として)。リーダーの育成。
活用出来る地域資源	神社と宮司さん(お宮・寺)。全自治会と総会。大楠の保全。自主防災会。念仏講。生活改善センター。農村公園の桜。若手会。敬神婦人会。古川若手会。子ども会の再生。武大神社カラオケ大会。役場・社協。
期待する効果	若い人も住みたいと思える町になる。帰って来なくなる町(Uターン)。みんなが楽しくつながる町。若い人が増える、人が集まれる町。交流が活発になる。人が優しくなれるかな。お年寄りが元気で長生きしてくれるかな。健康寿命が延びるかな。田舎ならではの生活様式を楽しむ。絆が深まり連帯感が出来る。閉じこもりが減少する。

自助の推進(自分に出来ること。助けられ上手になること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	お付き合い	声かけ 近所付き合い 目的意識のある集団作り	年代のよく似た人での付き合いを深める	4.10
			話の合う人同士の交流をする	4.20
			朝のあいさつ(気候をまじえて)また、相手より先にあいさつをする	3.80
2	ボランティア	登下校の見守り活動 ゴミ拾い 高齢者宅訪問	運動をしながらゴミを拾う(コースを変えればたくさん拾える)	2.20
			ボランティアグループで日を決めてゴミ拾い	1.80
			1人暮らし世帯の生活の状態、連絡先を把握する	2.90
3	健康	車利用を減して歩こう	ストレッチ体操をする(1日20分の運動を)	2.90
			健康野菜づくりとそれを使った食事を	4.00
			運動と、食事を減らす事を継続する(無理せず体調に合わせて)	3.30
			外に出る	4.50
			平均点	3.37

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	ラジオ体操(子どもと保護者の交流)
	高齢者宅の見回り、見守り
	野菜を分け合ったり交換したり、パン作り
	年代のよく似た人と付き合いが深まった
課題	近所付き合い(あいさつが出来ない、知らない人が増えてきた)
	声かけがしにくい
	近所の関わりあい薄い
	家を訪問しても玄関を開けてくれない(詐欺が多い)
具体的な取組	新しいボランティアグループを作りたい
	配食の時少しでも話をする
	高齢者宅の見回り、見守り
	自主防災会が活かせる地域にしたい
	気軽に集まり交流出来る場所が欲しい

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	独居老人や高齢者世帯の方が安心して暮らせる地域づくりを目指して
具体的な取組	どこに高齢者が住んでいるかを知る。ゴミ出し時や新聞受けや電気を見て1人暮らしの方の様子を見る。配食サービスの時に話をして生活の様子や身体の変化を察知する。新しく2・3人でグループを作り高齢者宅を訪問(1人に負担を押しつけない)。気軽に集まれる場所作り。情報の共有。祭りで集まって食事やカラオケを行ない高齢者に喜んでもらう機会を増やす。
活用出来る地域資源	産直市(高齢者がよく利用する場所)。ゴミ集積所(資源ゴミの日当番)。支え愛マップ。お庚申さん、お地藏さん。畑や散歩道、生活道や交差点井戸端会議が起こる場所。
期待する効果	みんなが仲良くなる。信頼関係が生まれる。笑顔で過ごせる。野菜がもらえる(ぶつつつ交換)。

互助の推進(家族やお隣さんで出来ること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	助け合い	高齢者1人暮らしの見守り 冠婚葬祭の手伝い	見守り(電灯、洗濯物、新聞、TVの音)	3.50
			気安く声をかけあう	4.10
			身体状況の把握(足が痛い、耳が遠い等)	3.10
2	お付き合い	お隣さんとの繋がり 交流	お隣さんとの会話や交流を増やす	3.70
			さりがなく情報収集(昼間居る場所、寝ている場所、持病等)	3.10
3	ゴミ問題	ゴミ収集所の清掃 独居老人のゴミ出し手伝い	当番制の継続(集積所の清掃)	4.50
			分別の手伝い(独居老人等)	2.00
			再度、分別法の周知	3.00
平均点				3.38

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	交流の機会が増えた(近隣で高齢者のことを気にかけてお互い話する機会が増えた)
	行事や集まりによりご近所の様子がよくわかった
	付き合いが深まると気軽に声をかけられるようになった
	お隣さんと1日1回以上あいさつや会話が出来ている
	ゴミ収集所でよく話したり一緒に片付けを行えた
課題	声をかけることは出来ているが、もっと深い問題(ゴミの分別や出すことの手伝い)等は まだ出来ていない(したい気持ちはあるが)
	1人暮らしの方と話をする機会がない
	近所におせっかいをやいて欲しくない、プライバシーを大事にしたい人が増えてきた
	仕事を持っているため交流の機会が少ない
	やや離れている人の様子や情報がつかみにくい
	地域の行事に参加しない方にもっと声をかける必要がある
	世代間交流が減った
世帯数が増え空家が増えた	
具体的な取組	積極的に高齢者に出来るだけ声かけしている
	ゴミを出せない高齢者お手伝いをする
	近隣で高齢者と若い人が集える場所を作る
	顔を見たら体調や変わったことがないかなど、テーマを決めて尋ねる
	災害が来そうなときは隣に行き様子を見る
	1人暮らしの方の家族の情報(連絡先等)を聞いて保管しておく
	つくし会(道路愛護)活動での会食や旅行交流。災害時のボランティア活動の準備

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	独居老人や高齢者世帯の方が安心して暮らせる地域づくりを目指して
具体的な取組	家族で見守りをする。家族の会話を増やす。隣近所付き合いを行ない、困り事を気軽に相談出来るようにする。ボランティアに若い世代に入ってもらい輪を広げたい。情報が入って気安い関係を作る。趣味の輪を広げていく。自治会の班長さんの情報に耳を傾ける。
活用出来る地域資源	通学通勤路。祭りや池の草刈活動等人が集まる地域の行事(奉仕活動)。野菜作りを通しての会話。八幡さん。お彼岸等お墓参りの時期は人が集まる場になる。さくら広場(花見や会議)。つくし会フラワーロード。公民館。スーパー。夕食の時間。敬老会を誘い合う。
期待する効果	優しくなれる。地域の輪が広がり楽しみと生きがいが増える。信頼関係が出来る。近所付き合いが出来る。お互いの気持ちが分かるようになる。安心でき住みやすくなる。仲良く助け合える。自分も地域も元気になる。

共助の推進(地域の力を結集して出来ること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	高齢化	独居老人世帯への見守り支援	自治会での実態把握	4.00
			情報カードの作成と正しい活用	3.00
			各関係機関の連携(ボランティア団体等)	3.10
2	行事	自治会の充実	サロン、お茶飲み会、念仏講などのグループ作り	3.00
			趣味の会を作る	2.50
3	つながり	付き合い連帯感の復活 寄り合いを増やす	隣組の意識を持つ	3.50
			気軽に雑談出来る場所作り	2.30
平均点				3.06

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	町内会でいろんなイベントが出来た(忘年会、花見、自主防災)
	隣組の意識が再確認出来た
	趣味を通じてつながりあえた(パークゴルフ、囲碁将棋)
	集まった機会におじぞうさんの掃除をするようになった
	月に一度の常会が開催出来た
課題	高齢者のみの家庭が増えて、行事等に参加しにくくなった
	個々の考え方が増えてきた
	高齢者同士が気軽に集える場や機会がない
	車での移動が主になった
	井戸端会議が減った
具体的な取組	情報の発信(自治会新聞の発行)
	誰でもが気軽に参加出来るイベントづくり
	常会をこれからも続ける
	みんなが集まれる所を増やす
	慣習の簡素化

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	独居老人や高齢者世帯の方が安心して暮らせる地域づくりを目指して
具体的な取組	趣味の場を作り誘う。気軽に集まれる場の継続。忘年会等季節の行事を誘い合って参加する。高齢者を第一に考えたイベントの開催。世代間交流。慣習を時代にあったものに簡素化。老人クラブへの加入促進。サロンを作る(食べ物には人は集まる)
活用出来る地域資源	小学校、集会場(カラオケ買いました)、公民館。さくら広場。つくし会。お店。お地藏さん。お念仏講(女性の団体)八幡神社のカラオケ。高島。農村公園、ぶぶるパーク。
期待する効果	自分や家族を知ってもらえる。他の自治会の人とも知り合いになれる。地域が広がってみなが仲良くなって楽しくなる(広域的)。人が集まり地域おこしになる。向上心が芽生える。明るく住みやすい町になる。困った時に助けると言いやすくなる。人の行き来が増える(歩いている人が増える)。気軽に雑談出来るようになる。

自助の推進(自分に出来ること。助けられ上手になること)

地域課題とそのテーマ		取り組み方法	採点
1	あいさつ 気軽な声かけ 井戸端会議の復活 地域づくり	散歩などで歩いている人を見たら積極的に声をかける	4.07
		出来るだけ隣と行き来する	4.00
		共通の話題で会話する	3.80
2	生き甲斐 趣味を活かした生きがいづくり	趣味活動の回数を増やす	3.67
		くよくよせず毎日前向きに過ごす	4.20
		インターネットなどの情報を活用する	3.53
		スポーツサークルなどへの参加	3.00
3	お付き合い 文化伝承 後継者の連携 自治会への参加	車での移動を減らして歩いて移動する	2.73
		イベントやまつりに参加する	3.53
		趣味や気の合う友人を作る	4.20
平均点			3.67

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	趣味(スポーツ、日曜大工)を活かして友人ができ、前向きな気持ちで過ごせるようになった
	マイペース
	ウサギと羊を飼って幼児と交流
	息子達の行為に共助。善意で理解する気持ちを持てるようになった。
	庭に出ている人や児童・大人に声かけをする。小学生や中学生と挨拶。
	犬の散歩時に地域巡りをする。夜遅く歩いている子ども達に注意をする。
	健康づくり(高血圧、不整脈に注意)
	お茶会が増えた
課題	インターネットの活用(パソコンを少し習ったがあまり使う事が出来なかった)
	歩くことを心掛け出来る限り歩いて移動し、人と交流(声かけ)する。車での移動を減らす。
	絶対数の減少を止める
	趣味活動の充実(太極拳、野菜作り)。健康への留意(スポーツの実施)。
	イベントやまつりへの参加
具体的な取組	町民運動会以外のスポーツイベント(GG、PG、卓球等)を開催して、地域交流を図る。
	ゴミ出しの見回り
	イベントやまつりに参加する。神社の掃除。
	散歩途中で出会った人や子ども達に必ずあいさつをする。隣家の人とあいさつが交わせる。
	自治会活動にフル参加し新しいグループ(若手)を立ち上げたい

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	災害に強い地域(自治会・自主防災会・各種団体の強化から)
具体的な取組	自主防災について話し合う回数を増やす。非常時持出し品の準備。散歩(地域の方と話す場を作る。内容は相手にあわす)。隣近所への声かけ・繋がり。家族を大切にする。大切な物を自分のそばに置いてく。老人カーを大切に保管する(自分が乗る・家族を乗せる・隣人を乗せる)。身元の表示。保険加入。避難困難高齢者が増えた事を認識する。気持ちを引き締める。
活用出来る地域資源	自主防災マップ。地域の事業所(まさかの時に資材を借りられるように)。救急キット。NTT171(災害時伝言ダイヤル)。羽根田のわき水(湯谷)。神社。携帯電話。ため池。
期待する効果	要援護者の安否確認。経験を活かして自分から動けるようになる(救急法等)。自治会活動の活性化(会議の開催が増えて話す増える)。信頼関係・連携強化。高齢者が地域で安心して暮らせる(身の回りの事が出来る間は自宅で生活出来る)。坂を利用して避難出来る。女性だけで集まる機会が増えるかな。

互助の推進(家族やお隣さんで出来ること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	絆	近所づきあいの再構築 お節介役になる	一歩踏み込んであいさつや声かけをする	3.60
			井戸端会議などの世間話	3.20
			物々交換	3.53
2	地域づくり 繋がり	世話焼き・リーダーの発掘	世代や区分をこえた交流によりリーダーを発掘する	2.60
3	声かけ	安心安全確認の為声かけ	あいさつや声かけ	4.07
			思いやりの心で本当に困っている人に声をかける	3.07
			世代を超えて声かけを	4.00
平均点				3.44

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	世代を超えた声かけ
	近所付き合いの再構築(もちよりBBQ大会)
	あいさつ
	小中学生がよくあいさつしてくれる
	絆
	近所とのぶつぶつ交換
	一歩踏み込んでのあいさつ、声かけ
	お節介役になる
課題	あいさつ(一歩踏み込んで出来たら)
	リーダーの発掘(難しい)
	婦人会員の減少
	若い世代(働き盛り)の多忙な世代への補助
	本当に困っている人がわからない
具体的な取組	自主防災組織(運営)の確認(毎年1回)
	女性達との交流(持ち寄り料理や活力あるイベントの開催)
	独居老人宅へ一歩踏み込んで交流(安否確認)
	婦人会活動への参加
	月1度の交流

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	災害に強い地域(自治会・自主防災会・各種団体の強化から)
具体的な取組	お裾分け。消防施設の確認。個人の強みを活かした。家の中での居場所の確認。ご近所での会話が増えた。声かけ。災害保険の加入。要援護者の担当者制。
活用出来る地域資源	家庭菜園(お裾分け)。自主防災設備。集会所。小学校。休耕田の活用(駐車場・トイレ等)。消防施設。畑の等の水を火事の時に利用。手作りパン。山からの水の活用。井戸。地域の人々。防災マップ。
期待する効果	地域内の交流が出来る。安否確認。避難がスムーズに出来る。家族や地域の親密度が上がる。資源を持った方に協力頂ける。身の回りの事が出来る間は自宅で生活出来る。物行き交うと心が行き交う。

共助の推進(地域の力を結集して出来ること)

地域課題とそのテーマ		取り組み方法	採点
1	助け合い 自治会組織強化 リーダー育成 おせっかいを焼く	若者の会や組織作り	2.27
		消防団などの組織との交流	2.27
		となり組の強化や自治会で話し合う機会を増やす	2.47
2	定住・後継者 リーダー育成 働き盛りの若者支援 自治会の組織強化	地域での子育て支援	2.27
		地域のまつりや文化交流の強化	2.73
		リーダーの共有	2.07
3	地域活性 新しい協働作業 町並み文化継承 後継者のつながり	協働作業による文化伝承	2.47
		地元観光資源を見直して観光開発	2.20
		民泊による学童体験や、農産物などの特産品を活かす	2.40
		平均点	2.35

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	交流が拡大し、行事が充実した(若い人は話したい)
	秋祭りで若者御輿が立上った
	支援事業の若者と地域交流が出来た(応援し隊)
	伝統文化がステップアップを狙えた
	農村舞台(地元の参加が増えた)
	地域の活動に出来るだけ参加出来た
	若者と飲めた
課題	行事のPDCA(継続の方策)
	自治会での話し合い
	社会貢献
具体的な取組	文化財を再確認し大切に作る心を守って行く
	ヘリポート
	農村舞台(中学生でこまわし)
	民泊(自然、環境保全)

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	災害に強い地域(自治会・自主防災会・各種団体の強化から)
具体的な取組	目の前で災害が起こる事を想定する。良いと思ったことは思い切って行動してみる。学校や行政の事業を広く広報する(防災無線の活用)。自主防災マップの作成。自治会の活性化。防災について話す機会を増やす。学校と地域での合同訓練。会議や事業に参加し交流が出来た。町内会の会合を増やす。リーダーの育成。伝言板の設置。
活用出来る地域資源	公民館。小中学校。集会所。ゆうあい。みよし苑。健祥会。給食センター。ふれアリーナ。東部福祉センター。病院。スーパーマーケット。
期待する効果	災害のない街づくり。昼間全体が顔見知りになる。気軽に話が出来る関係になる。老人・子ども等弱者の住みやすい町。健康な人が多くなる。災害で不安や恐れがあっても安心して避難生活が送れる。消防機材の使い方をみんなが覚えらる。人との繋がりが深まる。数日間地域力で生きる力がつく。女性の活動の場が増える。

自助の推進(自分に出来ること。助けられ上手になること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	健康	健康への配慮 まずは自分が健康である	歩く(なるべく地域の中では、車を使わない)	3.30
			健診を受ける(町)→自分の体は自分で守る	4.80
			カラオケ、詩吟→呼吸法、ストレス解消	3.00
			規則正しい生活をする	3.60
2	社会参加	行事への参加が減少	行事にはたくさん参加する	3.70
			男性も参加するように心がける	3.60
			趣味を見つけて目標を持つ	3.40
3	防災	防災意識を持つ	自主防災組織を強化する	4.40
			独居老人宅を訪問してチェック	3.20
			火災報知器を早急に設置する	3.50
			防災意識を高める	4.10
			平均点	3.69

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	自主防災組織を確立し支え愛マップが出来たで、自分の防災に関する意識が高まった。
	5人組への配り物はポストに入れていたが、手渡しと決めて顔を合わすことにした。
	健康に気をつけるようになった(毎年健診を受診し病気の早期発見と予防。毎日50分のウォーキングの継続。食事に気をつける。規則正しい生活が出来ようになった。)
課題	独居老人宅への訪問が独り善がりになり、どの程度深めていくのがよいかわかりにくい。(ゴミ出し、安否確認)
	自主防災組織への地域の関心が低い。(さんわ会事業の取組)
	独居老人の災害時の避難方法。
	行事への参加が少ない。
具体的な取組	火災報知器を取り付けた。
	ホイッスルを各人に配った。
	各家の人員構成、高齢者の状態を把握。
	支え愛マップの充実。
	コミュニケーションの強化。
	空家状況。
	社会参加(声かけ、あいさつ)

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	世代間交流
具体的な取組	積極的に地域活動に参加(旅行)。子ども(家族)と行事に参加。全員への声かけ。親子で共同作業(農業)。飲ミニケーション。若者へ声かけして協力してもらおう。世代を問わず挨拶と声かけ。地域をよく知る為の話し合い。
活用出来る地域資源	各種研修会や講習会。オアシスの風呂(みんなのいる所へ行こう)。学校行事に参加(運動会・授業参観)。行事への積極的な参加と呼びかけ。お酒を飲む機会。同窓会。井戸端会議。さんばいさん。運動会クリーン作戦後の食事会。
期待する効果	自己意識改革。酒を飲む機会が増える。家族内の会話が増える(両親や高齢者を大事に出来る)。孤立感が無くなる。存在意義(役に立てる)。お互いに良い所を見つけたり尊敬し合えて、仲良くし交流の輪(和)が広がっていく。話す機会が増える。お隣さんの事を自分の事として考えられる。地域を知り溶け込むことが出来る。

互助の推進(家族やお隣さんで出来ること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	自治活動	自治活動の活性化	クリーン作戦の回数を増やす	2.90
			集会所を定期的に清掃	3.40
			緑化運動	2.70
			さんわ会事業の推進	3.70
2	つながり	あいさつ運動	こりずにあいさつ	4.10
			5人組の中で気にかけていく	4.00
			家庭で1日1回は一緒に食事して会話をする	4.40
3	社会参加	行事への参加が減少	ボランティア(配食サービス)活動への参加	3.80
			行事には隣近所に声かけして参加	3.20
			各種団体への加入をすすめる	2.70
平均点				3.49

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	元気にあいさつ(朝夕会った方や、5人組、子ども達)
	自主防災の意識が高まってきた。(さんわ会活動をきっかけに)
	地域活動を通して仲間意識が高まって来ている(クリーン作戦、おまつり、町民運動会、神社の整備、新年会、総会等)
課題	自分だけでなく、隣近所を挨拶・声かけ等に誘う。
	ゴミの分別、ゴミ収集場所の清掃
	高齢者の孤立感が増えた
	老人会・婦人会等の加入の減少
	家の行事の簡素化による集まる機会の減少(世代間交流の減少)
	家族の会話が減った
具体的な取組	自主的に挨拶運動
	自主的にゴミ(ゴミ集積所)の掃除
	いつか誰かがするではなく今から始めるボランティア
	子ども達の見守り活動(登下校時)
	毎朝交通安全の声かけ
	地域の若者が集まれる機会の創設(ソフトボール、焼き肉パーティー)

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	世代間交流
具体的な取組	あいさつ声かけ。食事を一緒に行う。家族旅行。クリーン作戦に家族で参加。神社等清掃作業。お祭り。庚申講。冠婚葬祭。ラジオ体操。ご近所との会話を大切に。歩く。
活用出来る地域資源	配食サービス。ラジオ体操。小学校(運動会等)。神社寺。自治会集会所。祭り月見祭。婦人会。土井の池。散歩しながらあいさつやゴミ拾い。初詣(家族で)。クリーン作戦。地区バレーや運動会。オアシス・美濃田の淵。
期待する効果	イベントに参加し地域の活性化。挨拶運動から世代間交流へ。家族や地域で仲良く気軽に話が出来(気さくな関係)。運動会や挨拶で多くの出会いがある。環境美化。地域が明るくなる。意識が向上する。顔が見える関係ができ、信頼度が上がり、プライバシーを確保しつつ地域の安心感が増す。楽しみが増え若返り明るくなる。近所の人に子どもを知ってもらえる。昔の行事の復活。高齢者の活用。秋祭り。

共助の推進(地域の力を結集して出来ること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	助け合い	声かけ、あいさつ 人を気にする 近所付き合いが浅い	隣近所とのあいさつを地域に広める	3.50
			誘い合わせて行動しよう	3.50
			助け合いが必要な方の情報を共有する	3.50
2	社会参加	行事への参加が減少 集まる会を増やす	季節の行事を続けて行く	4.20
			町民運動会を続けて行く	4.60
			各種団体へ加入して行動に参加	3.30
3	地域おこし	自主防災組織作り 自治会活動の活性化	ししまいの復活(まつり)→足代ししまい	4.40
			自主防災組織化100%へ	4.20
			道路愛護会の復活	3.40
4	新しい 人材育成	ボランティア、若者の参加 団塊世代社会参加	伝統芸能の継承	2.90
平均点				3.75

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	地域の方のことを心配し相談出来るようになった
	町民運動会を続けられている
	神社・遺跡の整備が良い
	伝統芸能の継承
	人口は減少しているが秋祭り等の行事が継続されている
課題	防災組織の広域共有
	少子化により祭り等での人手不足
	高齢者のみの世帯が増え、若者の意識も薄くなり、行事等への参加が減っている
具体的な取組	道路の美化
	近隣や町外に在住する、兄弟・家族へ協力を要請する
	地縁(声かけ)と志縁(祭り・運動会)による行事の充実

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	世代間交流
具体的な取組	話し合う機会作る(交流)。行事に隣近所誘い合って参加する。イベントに参加。子ども・親・高齢者が楽しめる場を作る。あいさつ(歩いて)。まずは自分から声かけ。文化伝承交流活動(食べ物)
活用出来る地域資源	みんなで声かけを1人1人が努力する。クリーン作戦後の食事会。町民運動会。自治会班会。相撲場。学校やオアシスでのお祭りに参加したり、遊び等を多く行う(子ども中心)。自治会の寄り合い、学校行事(全員参加出来るチャンスがある)。学校。神社。秋祭り。婦人会。老人クラブ。社協。豊かな自然。人情や田舎ならではのおもてなし。方言やしきたり。
期待する効果	みんなで仲間作り(誘い合って話の輪)。みんなが一つになれる。自治会内で顔が見え色んな相談や取組が出来る。交流。三世代で楽しめる交流が出来る。足代を守る心！。災害時や地域活動での連携強化。地域が活気づく。生きる力と共に支え合う力の育成。交流による心の融和。環境美化。安心安全な地域。明るい町内会作り。

自助の推進(自分に出来ること。助けられ上手になること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	復活	若者 田畑 自家製食品	みんなでおいしい味噌を作る	2.92
			耕作放棄地の新たな活用	3.83
			新しいアイデアを自ら考察する	2.67
			情報提供を積極的にする	3.75
2	ボランティア	自主防災 道路整備清掃 ボランティア精神の再構築	生活道の清掃	3.67
			今していることを続けていく	4.00
			今して居る事業への協力	4.08
3	野生動物 との戦い	動物駆除 収穫の喜び	数や生体の調査で情報提供	3.17
			電気柵を設置とその管理	3.50
平均点				3.51

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	味噌づくり、山菜
	漬物作り
	情報提供
	畑作りをする(野菜づくり)
課題	野生動物(女性ではどうするすことも出来ない)
	生活道の清掃をしてくれていた人がいなくなった(みんなで協力して作業回数を増やす等の対応が必要)
	田畑の管理
	仕事をしていると忙しくて、行事ごとに参加出来ない
具体的な取組	ホタル祭り、もみじ祭りへの参加を長く続けたい
	耕作放棄地にあじさい、桜などを植える
	行事への参加
	情報発信

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	みんなで地域を守る(生活道や行事から)
具体的な取組	活性化の会に参加し交流を深める。家々を訪問する。健康について聞いてあげる。ボランティアへの参加。道路清掃。散歩をかねて落石拾い。場所を決めて行う。みんなで少しづつ道路掃除を行う。2ヶ月に1回女性だけでも道路清掃を行えたらなあ。行事への参加。連絡をする。草刈。声を掛け合い大勢です(動物からも安心)
活用出来る地域資源	増川谷川や山林、空気(自然)。おいしい水。人情。ホタル、紅葉祭り。地区内の見守り。婦人会。神社・集会場・公民館の清掃活動。老人クラブ。
期待する効果	絆・助け合いの高まり。話し合いの場が増える。安心感が高まる。笑顔になれる。参加するようになる。若返り。閉じこもり防止。元気をもらえる。みんなと会う機会が増える。

互助の推進(家族やお隣さんで出来ること)

地域課題とそのテーマ		取り組み方法	採点
1	助け合い 声かけ 語らう場 近所付き合い	回覧板の手渡し	3.75
		情報の共有	4.17
		電気・新聞の確認をし合う	3.17
2	移動手段 免許を返納せず頑張るぞ！ 車の利用	野菜の出荷の協力	2.83
		制度(福祉バス等)利用を促進	2.75
3	自給自足 水の確保 水路共有	水の確保	4.17
		水源地の保持	3.75
		味噌作りを伝えていこう	2.83
平均点			3.43

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	道路の拡張が出来て便利になった
	地区の助け合い
課題	安否確認
	回覧板をスムーズにわます
具体的な取組	旗立てや新聞・電気を活用しての安否確認
	現状維持(ホタル祭りが続けられますように)
	炭焼きを続ける

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	みんなで地域を守る(生活道や行事から)
具体的な取組	誘い合って行事に参加する。仲良くする。電話等連絡する。声かけ運動。近所付き合いをする。夜になると早めに電気を付ける(元気の意味表示)。用事を作ってご近所さんに会いに行く。あいさつ。自治会の常会に参加。
活用出来る地域資源	ホタル祭りに参加する。炭焼き。広報で声かけ。無料電話。自然。山菜等のお裾分け。
期待する効果	みんなが仲良くなれる。安否確認。ありがとうの輪が広がる。会話が増える。心豊かになる。地域内の活性化。

共助の推進(地域の力を結集して出来ること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	活性化	ホタル祭り イベントの開催	ホタル祭りを大々的に、もみじ祭りを広めるぞ!	4.17
			箸蔵山→増川笑楽耕のウォーキングイベント(旧箸蔵街道の復活)	2.92
			民泊を年中利用者が来てくれるイベントにしたい	2.75
2	リーダー育成	議員の選出	議員の選出	2.17
			各団体のリーダーが連携する	3.25
3	過疎問題	高齢化 人口減 世帯状況の再確認	限界集落で頑張る	4.17
			人がたくさんいるように見せる	3.00
			電気をつけたり、電飾で飾る	2.75
4	街並み作り	道路の草刈り 家を見せる 助け合い	草刈りや山林整地	3.83
			生活道の確保の為、整地	3.92
			シンボルを増やす	3.00
平均点				3.27

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	道路(柳沢箸蔵線、石木岸上線)の開通
	ホタル祭りをみんなで楽しく出来ている
	道路愛護(草刈りや掃除)が出来ている
	地域のまとまりがある
	神社行事への参加者が多い
課題	人が少なくなっている
	子どもがいない
	後継者不足
	動物被害(イノシシ・サル)の増えて来た
	空家が増えた
	耕作放棄地が増えている
具体的な取組	民泊の拡充
	そばのブランド化
	味噌作りを続けて行きたい
	山間地を中心とした行政施策の充実を強化して欲しい

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	みんなで地域を守る(生活道や行事から)
具体的な取組	落石をのける。道路清掃を4自治会で取組む。道路愛護。各事業への参加。清掃。水の管理。
活用出来る地域資源	増川小学校。郷土料理(山菜、そば)。技術の伝承。お金がもらえるような行事。秘伝の味。ホタル・紅葉祭り。役場。
期待する効果	たくさんの方が訪れてくれる。おもてなしの心。地域のまとまりと活性化。交流の深まり。行事を拡大して盛大に行えるようになった。現状維持が出来るよう頑張りたい。行事への参加。

自助の推進(自分に出来ること。助けられ上手になること)

地域課題とそのテーマ		取り組み方法	採点	
1	思いやり	休日を利用して交流 話し相手 不要な干渉をやめる	人の話をじっくり聞いてあげる	3.50
			気持ちが通じ合う努力をする	3.00
			相手の言いたいことを理解してあげる	2.88
2	生きがい作り	免許を返納せず頑張るぞ！ 活力を作る	運転免許を持ち続け(元気でいられるようにする)	5.00
			外出を心掛ける(家の中にこもらない)	4.38
			各種団体(老人会・婦人会等)の活動に参加する	3.13
3	ボランティア	自主防災 活動の勉強会 ボランティア精神の再構築	ボランティア活動に参加する	3.38
			参加声掛けだけでもボランティア活動	3.25
			誘い合い・声掛け運動をする	3.25
平均点			3.53	

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	気持ちが通じ合う努力
	声かけ運動
	外出が出来た
	道路の清掃
	休日は用事が多い
	運転免許を持ち続ける
	ボランティア活動に参加
	老人会に参加
	お祭りの継続
課題	絆作り
	高齢者が多く若者が働く場所がない
	若者が外に出て地域が高齢化した
	町道の傷みが多い
	若者が少ない
具体的な取組	東山を守る会のひなまつり、運動会
	東山みどりの会活動への参加
	ホタル祭り、ホタル愛好会

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	地域内のつながり
具体的な取組	声かけや見守り活動。近所付き合い。言いたいことを分かってあげる。気持ちが通じ合う関係作り。友達を広めていこう。あいさつ。行事への参加。
活用出来る地域資源	男山奉仕作業(年3回)。老人会。身体障害者会。東山を守る会。
期待する効果	信頼関係。和やかな人間関係。いたわりの心。気安い関係が出来る。気にかける。地域のイベントを継続出来る。繋がりが広がる。

互助の推進(家族やお隣さんで出来ること)

地域課題とそのテーマ			取り組み方法	採点
1	絆作り	近所付き合い	昔していたように、一瞬でも合ったら立ち止まって会話をする	3.25
			できるだけ回覧板は手渡しで(なるべくポストに入れない)	3.13
			茶飲み仲間を増やす	3.50
2	生きがい作り	免許を返納せず頑張るぞ！	誘い合い(自治会単位)	2.75
			グループで物作り(味噌・野菜・加工品)・特産品につながる	2.50
			公民館活動を活発にする	3.25
3	思いやり	休日を利用して交流 話し相手 人情	積極的に話し相手になる	3.50
			お隣を気にかける	4.38
			ちょっとした声かけの復活(安否確認にもつながる)	3.88
平均点				3.35

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	おとなりを気にかけるようになった
	男山味噌づくりグループに参加(大豆作り、作物ニュース広がる)
課題	なるべく近所と話をしなければ
	集会に参加しにくい
具体的な取組	声かけ(自分の健康の為に歩いたりする)
	イベントに新たな提案を(他の地域を参考に)
	回覧板は手渡しで

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	地域内のつながり
具体的な取組	食事を1回は一緒に食べる。回覧板の手渡し。イベントに誘い合っていく。
活用出来る地域資源	老人会のイベント(研修旅行・運動会)。自治会新年会。おまつり。奉仕作業(後の飲み会)。新しいイベント。
期待する効果	活気が出る。賑やかになる。若者との接点が出てくる。若い人が帰って来てくれたら。積極性が出る。

共助の推進(地域の力を結集して出来ること)

地域課題とそのテーマ		取り組み方法	採点
1	仲間作り 実態を理解し、高齢者同士で助け合い 老人会活動	各種団体活動の強化	3.50
		参加者を増やす工夫(アイデア)	2.75
		特産品研究と制作(生産)	2.75
2	絆作り 個人主義の廃止 語らう場 近所付き合い	地域の為に活動し、貢献する	3.63
		まつりを今の形で続ける(秋まつり)	3.88
3	過疎問題 便利になった事で… 世帯状況の再確認	人ば減ったが、手入れをして生活の範囲を広げる	3.38
		遠くの親戚よりも近くの他人を大切に、という気持ちを持つ	4.00
4	資源の活用 休校となる小学校の活用	学校(東山小)や公民館(生きがい活動)の活用を考える	4.50
		西庄・絵堂・東山の卒業生が来てもらえるような活動をする	4.25
		野菜などを販売し、自然を活かしたイベントの計画	2.63
平均点			3.53

推進状況(気持ちや地域の変化。まだまだ残る課題と具体的な取組)

良かったこと	地域のつながり
	県道の草刈
	障害の人の話し相手
	東山を守る会(イベント、お祭り)
	東山緑を守る会(紅葉や桜を植える)
課題	老人会活動をもう少し活発にしたい(参加者を増やす工夫)
	自動車に乗る人が少ない(会合や行事に参加出来ない)
	若い人が少ない
	高齢者が参加しやすい工夫
具体的な取組	県道に植樹をしている
	民泊の手伝い
	東山みに八十八カ所周り
	障害者が集える集会所がほしい
	移送バスを利用しやすくしてほしい(障害のある方)

2次計画において地域で取組最優先課題や事項

課題	地域内のつながり
具体的な取組	学校を利用して高齢者の憩いの場を作ろう。ゲートボールやグラウンドゴルフの普及活動。地域内での送迎システムの構築。
活用出来る地域資源	移送サービス。社協。公民館。東山小学校。神社。お寺。自主防災会。
期待する効果	若い人や定年退職した人が帰ってきたくなるような地域。災害に強い地域になる。地域産業を活性化。

発行年月 平成29年 3月

**社会福祉法人 東みよし町社会福祉協議会
東みよし町地域福祉活動計画策定委員会**

〒779-4702

徳島県三好郡東みよし町西庄字横手70

TEL 0883-82-6309 FAX 0883-76-1088